

◆平成 26 年度 支部活動報告

【ご報告】3/28(土)神奈川県支部 春の「何でもしゃべろう会」を開催しました。

桜の開花宣言からまもなくの春 3 月 28 日午後 4 時、横浜駅前に、80 名の会員ご父母が集まり、バス 2 台に分乗し、川崎コリアンタウンへ向かいました。それぞれのバスの車中で、佐藤支部長他役員のご挨拶とこの日に訪れる川崎コリアンタウンと川崎工場夜景のご案内がありました。少々早い夕食とはなりましたが、川崎コリアンタウンの名店中の名店、「桜苑」で炭火で焼き上がるお肉を皆さんでとりわけ、秘伝のたれにつけていただきました。毎回のことで、今回も、すぐにお隣さん同士で、同じ大学に通うお子さんの学生生活や進学、就職のこと等々…楽しいおしゃべりがはずみ、和やかににぎやかにあつという間に時間は過ぎました。



18 時半すぎには再びバスに乗り込み、臨海部に展開する京浜工業地帯、多数の工場の灯りが灯る地域へと向かいました。「桜苑」からは工場夜景ナビゲーターの方も同乗し、車窓から見える工場群の白色灯とオレンジ灯の違い、16 ある運河のお話、また、川崎の地理、藤嶋学長が「かわさき市民アカデミー」の理事長であり、本学と浅からぬご縁があるお話など興味深く聞き入ってしまいました。



↑マリオン展望室のジオラマ

バスを降りて、川崎マリエン(川崎市港湾振興会館)のタワー棟 10 階展望室からは 360 度の大パノラマを望み、東扇島東公園では工場夜景の先に、羽田上空の航空機の灯りも眺めながら散策も楽しみました。この夜間景観は、5 年ほど前からバスツアーの定期運行が始まったそうで、歴史は浅いようですが、今では工場夜景として屋形船クルーズと共に大人気！とのことでした。神奈川県在住の会員の皆さまですが、初めて訪れた方が大半でした。9 時少し前に、横浜駅と川崎駅と最終下車駅別にバスは分かれ帰路につきました。工場夜景の魅力は、「昨今の夜のイルミネーションの華やかさはないけれど、働く人の息吹が感じられること。元気がもらえること。」とナビゲーターの方に教えてもらい、それを実感しながら家路につきました。

